

三翠化学会

(題字は福川先生)

発行部内 1515
学 科 59345
町 学 5
市 大 学 名 古 屋
重 芸 古 屋 59345
津 三 農 替 電 (津) <0592> 2111
電話

昭和五十二年度

定期総会開かれる

新会長 岡田芳次郎氏

五月二十二日(日曜日)午前十一時より、三重大学農学部大講義室に於て、四十数名の会員の参加のもとに昭和五十二年度三翠化学会定期総会が開催された。

辻静夫氏の司会により、始められ、議長に豊田治男氏を、書記に田中実氏を選出した。この議題を審議した。先づ、五十一年度事業報告を、続いて五十一年度会計報告がなされ、承認された。次に会則第九条に基づいて役員改選が行なわれた。二期つとめられた嶋林前会長に代わって、新会長に岡田芳次郎氏が、副会長には福田映氏及び高橋孝雄氏が選ばれた。引き続き理事、監事、幹事を選出し、更に新会長より各学年につき一名の方々が評議員に指名され、新執行部がスタートした。(別表)。

このたびの役員改選により、図らずも嶋林前会長のあとをうけて、会長を御引受け致すことになりました。浅学非才の身を以て、栄ある三翠化学会会長の重責を完うすることが出来るかどうか心配致している次第で御座います。微力では御座いますが、同窓会各位の絶大な御支援のもと、この重責を果たしたい気持ちで御座いますので何卒御協力を賜りますようお願いして御座います。さて、本会の発足は、御存じのとおり昭和四十

昭和52年度

三翠化学会役員

- 会長 岡田芳次郎(専一)
- 副会長 福田映(大1)
- 高橋孝雄(大6)
- 理事 渡辺和己(専一)、中川潔彦(専二)、原田俊夫(専三)、藤本義雄(大4)、今井滋(大9)、今井正之(大11)、本庄達之助(大16)、辻静夫(大19)、田中幹夫(大14)
- 幹事 庶務 田口寛(大17)
- 小山司朗(大20)
- 会計 古市幸生(大13)
- 小畑仁(大15)
- 評議員 若林長生(専一)、中西孝文(専二)、嶋田協(専三)、岡本正雄(大1)、嶋林幸英(大2)、岡田久司(大3)、渋谷明(大4)、草川勉(大5)、豊田治男(大6)、石原暁(大7)、藤本公三(大8)、伊藤文男(大9)、伊藤道子(大10)

会費納入のお願い

今年度総会におきまして本会計の窮状を申し上げるに及び、誠に申し訳ない限り、今年度分のお金を、誠に誠にお願い申し上げます。昭和五十二年度分の会費は千円とさせていただきます。もし昭和五十

会則第15条の改訂について

四十八年十一月に発足致しました本会もまもなく四年目の誕生を迎えます。この間会員各位の御協力御援助により、本会の基礎からいよいよ活動期に入っております。しかしこの四年間の物価の上昇は著しく特に会員相互のコミュニケーションの場である会報の印刷費、郵送通信費の上昇によって、本会の活動が非常に制約されるようになって参りました。このことば前年程前から予想され計らねばならぬと考えております。以上これらの点を

お知らせとお願い

本年度総会におきまして役員が変更されました。何分不慣れな点もございますが、ここに会報第七号を発行致しました。次号(第八号)は53年1月2月に発行を予定しております。つきましては原稿をお寄せ下さいませ。よろしくお願い致します。

名簿発行

本年度は、会員の名簿を発行する予定です。発行は十一月の予定で、現在名簿編集委員会を発足し準備を進めております。住所、勤務先等変更がございましたら同封の葉書を御利用下さい。また名簿の要、不要の欄及び専攻室名欄にも御記入下さいまして御返送下さい。(名簿予価 約千円)

計 報

中川豊氏(大22回、昭和49年3月卒)は昭和52年3月逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り致します。

昭和51年度三翠化学会事業報告

昭和51年 4月24日	役員会
5月1日	総会案内発送
5月12日	役員会、評議員会(総会)
5月23日	総会(於伊勢)
5月23日	教員支部会
7月1日	役員会
8月25日	会報第5号発行
11月10日	役員会、評議員会
昭和52年 1月10日	会報第6号発行
4月2日	関東支部総会

昭和52年度三翠化学会事業計画

昭和52年 4月12日	幹事会
4月18日	役員会
4月28日	役員会、評議員会
5月上旬	総会案内発送
5月22日	総会
6月	役員会(会報第7号、会員名簿)
6月	会員名簿編集幹事会
7月	会報第7号発行
8月	会員名簿編集幹事会
10月	役員会
10月	会員名簿発行
11月	役員会、評議員会(会報第8号)
昭和53年 1月	会報第8号発行
2月	役員会

昭和52年度三翠化学会予算

項 目	金額(円)
収	
繰越金	119,919
52年度会費(1,000×(830-60)×0.7)	539,000
計	658,919
支	
会報印刷費(7、8号)	240,000
郵送通信費	165,000
会議費	100,000
事務費	50,000
こうよりへの補助金	30,000
予備費	73,919
計	658,919

昭和51年度三翠化学会決算

項 目	金額(円)
収	
繰越金	14,266
51年度会費等	325,331
雑収入	23,800
計	363,397
支	
会報印刷費(5、6号)	115,000
郵送通信費(6号發送用等)	55,600
会議費	10,820
事務費	2,058
同窓会負担金等	30,000
こうよりへの補助金	30,000
計	243,478
差引残高	+119,919

われ等の同窓会を三翠化学会と名を改めたのは昭和四十八年の秋であり、今日で満三年半を経過した

雄大な気象と久遠の理想と不変の操守を表象して余りあるにあらざるや。三は自然の三翠を兼ねるに三重

総説

『さらなる発展を』

嶋 幸 英

本校寄宿舎の環境たる近く臨む伊勢湾の翠波洋々乎たり。仰げば翠空高く

各方面の関係者各位の努力により一応の閉止がなされようになつたのは、評

程の違ひがあるのは否めない事実である。しかし、若

本会が、永続的に発展していくためには、次代を背負

事は、各年層層をカバーして、この点は問題ない

横のつながり、つまり各卒業年度別のクラスを連

ようとしていますが、少し高い木にかけた梯子に登

た鋸の切れ味がまかせたい木を三、四本たて続け

さして前置きが長くなりすぎたので、これから研究室

小畑は四十九年に赴任したばかりで、農業化学科

さきにも触れたように、今日まで関東支部(東京支

部の発展により改称)、三重県支部、三重県庁支

の発展に併せて、生活設計を考へていきたいと思っ

あるフレームレス原子吸光分析装置を導入され、意

林林助教授は、土壌学の問題から植物生理学の問題

職場紹介

シキシマパンは大正九年六月八日に名古屋市東区長

創業当時の米騒動があり、食生活は今では、およそ想像の出来ない程、多

このような時代に、学んだ事を執行し、生かそうと

山岡、熱田、刈谷、犬山の九工場 営業所 京都、和歌山、

全体を管理している課にいて二人、ベイトオフ課

は、喜びたいことではないかと思つておきます。

暑い中をお元気で活躍のことと存じ、お慶び申

大学の新生が入学試験と云う目的を達成すると

先輩の先生方のご経験を学びたいと思つてお

自他を日といひ、九十日間の修業をふり返して反省

「食生活の改善」「食糧問題の解決」国民地位の向上を目標として、創

資本金 約六億三千万円 社員数 約四千名

古屋、熱田、刈谷、犬山の九工場 営業所 京都、和歌山、

小売店 東京八五〇店、中部六、一〇〇店、関東三、〇〇〇店

食生活ではないでしょうか。日本人の体位は、戦後

ご承知の通り、私この四月に休職いたしました

アメリカではハッピーリタイヤメントの後は自己

たいと思つておられますが、今暫くは休養を

の立場から、植物栄養学の専攻生が所属して

たばかりで、農業化学科の専攻生が所属して

日では業界の指導的立場になつております。

この創業精神は、どんな時代になつても当てはまり

大阪昭和(奈良)、名

きでありますが、まだ全

最近の我々の環境に

食糧問題の解決と云う目

たいと思つておられる

先輩の先生方のご経験を

の立場から、植物栄養学

たばかりで、農業化学科

敷島製パン株式会社

資本金 約六億三千万円 社員数 約四千名

古屋、熱田、刈谷、犬山の九工場

食生活ではないでしょうか。日本人の体位は、戦後

ご承知の通り、私この四月に休職いたしました

アメリカではハッピーリタイヤメントの後は自己

たいと思つておられる

先輩の先生方のご経験を

の立場から、植物栄養学

恩師近況

石川 鹿生

暑い中をお元気で活躍のことと存じ、お慶び申

盆供養について

インドにUttara(ウルパ)という言葉がある

いまから三十一年前、敗戦直後の姿は現在の繁栄とくらべ想像もつかない荒れ果てた状況であり、津新町などの駅周辺には闇市の露店のみが活気を呈し、焦土と化した市街地にはボツボツと、バラックの家屋が建ちはじめた頃であった。

交通状況、食糧事情は最悪で上級学校を志望する者にとつて、東京や大阪の学校を目指すことはきわめて困難であり、その意味で希望する学校は地域的に限定されたものにならざるを得なかったのである。当時の三重県での最高学府は三重農専であり、教育学部や医学部のある三重師範学校や農専とくらべかなり低くランクされていたようであった。その三重農専に新しく

農産製造科が設置されるとなれば多数の志願者が押しよせたとすも無理からぬことであり、いまだれば当然他のコースや他の大学に進んだと思われる者も多々あつたか推察していただきたい。

したがって入学した第一回はバラエティにとんだ面々であり、それに解体された陸、海軍の諸学校の出身者が半数近くおり、年齢差も大きく、現会長の岡田氏(旧姓西川)は最年長で陸軍の佐官であり、私達のような中学四年終了の者からみれば大人と子供のようにならざり得た。強烈な個性の持ち主が多く何事をするにもケタはずれであり世相の反映もあつて無軌道、脱線ぶりもさまざまあつた。いまだに専門第一回生の豪勇ぶりは語り草になつていて聞く。エピソード

支部だより

第二回関東支部総会

三翠化学会関東支部総会が、昭和五十二年四月二日(土)午後六時より、虎の門共済会館で長瀬先生をはじめとする奈良先生、松嶋先生、赤木先生、熊沢先生、嶋田先生、梅林先生、小山先生、三翠先生方と大学院生三名、卒業生六十九名の出席をえて盛大に開かれまし

三翠化学会東京支部は、昭和四十九年四月二日、支部長として、農専農産製造科、第一回卒業生の佐野恒平氏を選出し、約七十名の会員を擁して設立発足しましたが、早くも、それから三年の歳月が流れてしまふこのたび農芸化学会大会が慶大(日吉)で開催されるのを機会に、第二回関東支部が嶋林先生の提案で急遽開かれるはこびとなつた次第です。

ドや話題があまりにも多く、どれから書いてよいやら迷う始末であるが、こゝに若干紹介することで三十年前の学生はどんなものであつたか推察していただきたい。

①五人で四十人の代返

とぼしいなかにも明るさが

専門一回 若林長生

ある講義でクラスのほとんどが代返を依頼してエスケープ、その依頼された者もエスケープとなれば逃げ損なつた五人が四十人の返事をしなければならず、一人が八人分を担当している人と声色をかえて苦心さんたん。出席をとる先生もすましたも視覚的にも聴覚的にも四十人と映つたのであろう。

いまの河芸町にある第二農場へ夏休み約一週間の農作業にかり出された。宿泊所の周辺は民有の果樹園である。夕刻、桃盗り作業にふれた犯人は不寝番、ちよつとした一騒動であつた。③学校周辺に動物がいなくなつた

これはあまりくわしく書くことささわりがあるので一般論にとどめておく。暗い戦時から開放されて、民主主義、自由主義と称するものがあたり一面にたゞよい始めた時代である。女子と話をしただけでも咎められ、交際も受けてきた者が、交際ももちろん、もつと深くも是認されるようになったのであるから、ワタクするよう不安な

開会にあたり、佐野支部長、熊沢教授の御挨拶の言葉があり、統一して懇親パーティーに移りました。久方ぶりに会つた同期生同志、あるいは先生方、先輩、後輩との間で酔いがまわるにつれて、和気あつたの雰囲気の中で、話のボルテージがあつていきました。

三翠卒業生は、それぞれ各分野で着々と重要な地位を占めつつあり、それ故に激しい試練の日々を過ごされていく方が多いと思ひますが、このような懇親パーティーは何よりの息ぬきになると思ひました。

卒業生同志、心を通い合わせ、お互い力になりあつていこうではありませぬか。

予定の二時間余りは、またたく間に過ぎてしまひ、松島先生、つづいて八十歳になられても、なお意気盛んな長瀬先生の首頭による

万歳三唱によつて、第二回関東支部総会は盛況裏におひらぎとなりました。

なお、今回の総会に、岩本先生、嶋林先生をお迎えできなかったことは非常に残念と思つるとともに、種々御協力戴きました卒業生の皆様に厚くお礼申し上げます。

次回総会の幹事は第九回生ですので、よろしくお願ひ致します。(第八回生)

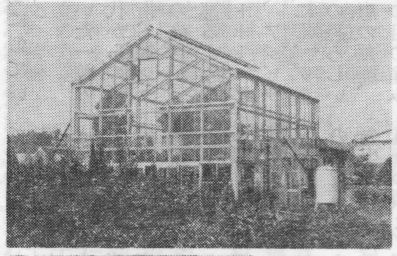
農場トピック

「熱帯植物温室」

附属農場へ移設

国道から農学部正門に向かうと、進入路のプラタナヤ、バナナ・龍眼・コーヒーやパイプの並木ごしに熱帯植物温室が、望見され「壮麗な水晶宮の如く本校の前面を飾つて」いた。

この温室は昭和六年三重高農に設置され、建坪四八坪、棟高二十二尺の高棟両



屋根式で、マンゴ・パパイヤ、バナナ・龍眼・コーヒーの木等の果樹類、チーク等の用材木、その他草本類等三百余種の有利用種となつた。そこで、温室

うな、気持一杯。目標に向つて出発するわけであるが、いかにせん女の子へのアプローチが全く未熟、こごとく振られて惨敗というのが多かつた。いまの若者のようなスマートさがあれば、もつともっと異なる場面が展開したであろうに、しかし何と云つても三重県最高学府の農専生、振られっぱなしでは活券にかゝわる。十人斬り、二十人斬りを果した者もあつたとか。以上とりとめもない学生時代のエピソードを綴つてみたが、三十年も経れば一同中高年の立派な紳士、それぞれのある者が多く、三翠の庭で鍛えた諸能力が現在の立場で非常に役立つことが多いと聞く。なつかしい三年間であつた。

クラス会だより

(大九回卒)

当クラス会の特長は卒業以来四年毎にクラス会を開いており、毎回半数以上のクラス員が集合して居ることである。皆が記憶し易いようにクラス会はオリビック開催の年に行うことにしております。

今回は牛田、平田忠史両人が幹事となり、昭和五十二年十一月十四日午前十時より、名古屋市の覚王山通



大九同期会(名古屋市王山会館にて)

りにある王山会館において一般教養時にクラス担任をして戴いた石川鹿生先生を御迎えして、歓談の一時を過ぎました。生憎当日は新幹線の故障の為、数人が途中で引き返さず結果となりかつたのが残念でありました。出席者は写真通り。

次回幹事は全員一致で三輪及び米窪両人に決定。開催場所は両人地元静岡県内、場所的に一泊のクラス会とする予定。

なお、当クラス員で三翠会員名簿に記載されなかつたり、転載された方々の消息は次の通り。

梅本 勲 40豊橋市曙町字測点二七の二
勤務先は豊橋市七根町
中上食品工場 電話〇五三二二二二二
上地貴也(好治) 645-14和歌山県西牟婁郡中辺路町小皆原四六三。職業は自然農場経営と、祈禱師であるとの話もあり、不詳。
大道元彦 住所勤務先共に606東京都左京区高野東開町十八 谷畑栄工内。

農芸化学科機関紙

「こうより」編集委員会からのお知らせとお願い

私共、農芸化学科の学生にとりましては先輩「こうより」も皆様の御支援のおかげで今までに20号を発行してまいりました。今年もこの輝かしい伝統を持つ「こうより」の発行を目標として21号目の発行を目ざして私共こうより編集委員会一同ががんばっております。

さて在学生、教官、O Bの三者を結ぶかけ橋として出発した「こうより」ではあります、三者のうち人数的に最も先輩からのお便りが少なく、悩まされております。在刷の都合上原稿は十月上

句までに下記の住所までお送り下さるようお願いいたします。

また私共編集委員会一同このこうよりが一人でも多くの先輩方に愛読されることを願つております。つきましては御手数ながら下記の住所まで「こうより購入希望」と書いた葉書で住所、氏名を明記の上申し込んで一部でも多く「こうより」を買って下さるようお願いいたします。「こうより」21号は二月頃完成の見込みです。

51津市上浜町
三重大学農学部
農芸化学科
こうより編集委員会

闇雲 明男

(大3)

勤務先の日本硝子繊維株式会社の釣竿素材メーカーに...

たからであります。丁度、この辺りには三翠化学会員の...

用微生物学講座の構成は、

教授1、助教1、助手2、技官2の職員に院生、学部...

「今、わたくしは...」

八期生と言ふことは、学校を出てから十有七年を経...

長谷川 正一

八期生と言ふことは、学校を出てから十有七年を経...

谷 由美子

先日、湯の山で十年ぶり位に農芸化学十三回生のク...

町 美根子

一番下の子ども四歳となり、かなり育児から解放さ...

山田 則子

皆様、ごぶさた致しておりましたが、お変わりござい...

新社会人の愚痴

大学を卒業しようという四カ月前程が過ぎようとして...

一学期を終えて

六年間(中学・高校)通った学校の講師なので、最...

藤 真子

「たたくわらない」といった表情をしているように思...

藤 弘

卒業以来サントリーの緑をみながら各地事業所を...

鳴田 協

この四月から九月まで東北大学の応用微生物学研究...

谷 由美子

先日、湯の山で十年ぶり位に農芸化学十三回生のク...

町 美根子

一番下の子ども四歳となり、かなり育児から解放さ...

山田 則子

皆様、ごぶさた致しておりましたが、お変わりござい...

新社会人の愚痴

大学を卒業しようという四カ月前程が過ぎようとして...

一学期を終えて

六年間(中学・高校)通った学校の講師なので、最...

藤 真子

「たたくわらない」といった表情をしているように思...

この四月から九月まで東北大学の応用微生物学研究室に滞在しています。たまたま、日本学術振興会の流動研究員に採用され、六価クロム耐性菌による六価クロムの除去」というテーマを共同研究することになっ...